

院長からのメッセージ



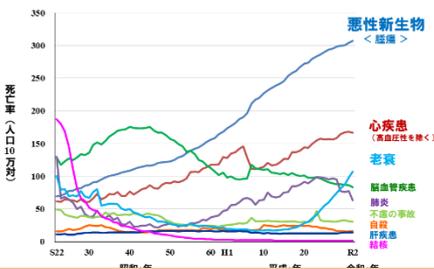
新年あけましておめでとございます。昨年末から世界的にコロナウイルスのオミクロン株が話題になり、2019年12月から始まったパンデミックが終息するには3年くらいかかりそうだとされており、重症化に対しては予防接種の効果十分に期待できますので、2021年8月の第5波のような入院病床の不足には至らないのではないかと推測しています。ただ、軽症であっても患者数が多くなれば、都会で観察されたような在宅待機中の急変という事態は避けられないので、患者数増加は阻止したいものです。

当センターは自治体立病院として地域で求められる医療を適切に提供するため、診療科の増設、救急体制の強化などの課題に取り組んでおります。当然ながら、医療経済的には不採算部門が多く含まれることとなりますが、住民の方々が安心して暮らせる環境作りには欠かせない分野です。これらを進めていくには皆様のご理解とご協力が不可欠ですので、令和4年（2022年）もどうかよろしくお願い申し上げます。

皆様の健康維持と病気の診断・治療に役立てる病院であり続けられるよう、職員一同努力いたします。

市民公開教育講座 今回は「誤嚥性肺炎」です

死因別に見た死亡率の年次推移



肺炎はがん、心疾患に次ぎ、脳卒中や老衰と同じぐらい死亡率が高い

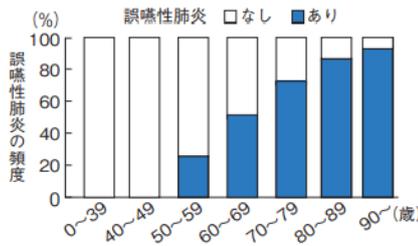
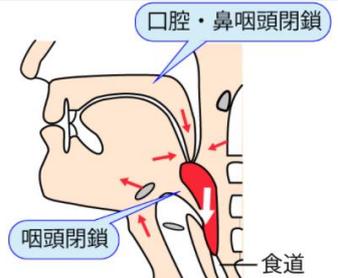


図3 日本の肺炎入院症例における誤嚥性肺炎の割合

肺炎に占める誤嚥性肺炎の割合は年齢が高くなるにつれ高率

誤嚥性肺炎は、①嚥下筋の筋力の低下による嚥下機能の低下「**嚥下サルコペニア**」、②口腔が汚れ、歯が欠損し、舌の運動や噛みこむ機能が低下した「**オーラルフレイル**」、③のどの粘膜の感覚が落ちたり、咳をする働きが落ちた「**気道防御反射の低下**」などで起こります。「**誤嚥のない老衰はありえない**」と言われ、誤嚥は年を取ると誰にでも起こりえる事ですが、ある程度予防できます。

①**嚥下サルコペニアを防ぐ**には、力を入れてしっかり飲み込み、飲み込んだ力をゆるめずそのまま4-5秒止めます。そうすると①鼻咽頭を閉鎖する口蓋筋、②口腔を遮断する舌根挙上筋(舌が上顎を強く押さえる)、③喉頭および声門閉鎖に關与する舌骨上下筋、④食塊の食道下行に關与する咽頭収縮筋などが収縮状態となりこれらの嚥下筋が鍛えられます。その他、舌の出し入れ、歌を歌う、あくび、発声や発音練習(あいうえお、パタカラ)なども有効です(詳しくは嚥下トレーニング協会のHPをご参照ください)。



②**オーラルフレイルを防ぐ**には、歯をしっかりと磨く(歯周病予防)、よく噛む(唾液分泌が向上)、よく笑いよく喋る(口腔周りの筋力Up)、口輪筋のトレーニング(口をすぼめ、左右に動かす)などが勧められます。歯医者さんで歯周病の確認や予防等はしっかりと指導してもらえます。

③**気道防御反射を高める**には、深く息を吸ってから「えへん」と強く咳払いします。やりすぎると喉を傷めることもあるので注意しましょう。咳ではなく強く息を吐き出す(「ハフティング」といいます)トレーニングも、痰を吐き出す訓練になります。

トピックス-1-肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンは肺炎予防にとっても有効です！

誤嚥性肺炎を含む様々の肺炎の原因菌の多くを肺炎球菌が占めるとされており、そのワクチン接種はきわめて有効です(65歳以上は全額公費、5年に1回)。更にインフルエンザワクチンを投与することで高齢者の肺炎予防に相乗効果を示す報告があります。高齢者の方々には是非両ワクチンの接種をお勧めします。

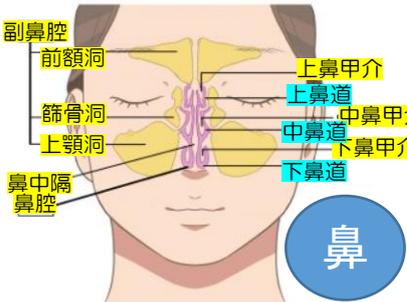
トピックス-2-誤嚥性肺炎になって人工呼吸器が外せなくなったらどうしますか？

誤嚥性肺炎は死亡率の高い疾患です。これ以上の治療が難しくなったり、機械につながないと延命できなくなったらどうするか、万が一の時の為に、自分が意思表示ができる間に、家族と話し合っておく方が少しづつ増えてきました。

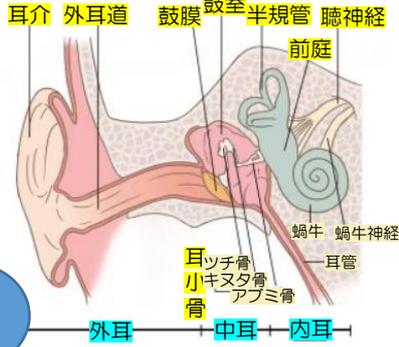


耳鼻咽喉科・頭頸部外科常勤復活！

当院では2004/9～2006/3の間、耳鼻科常勤体制で手術も行われていましたが、医師不足でその後は非常勤体制でした。この度、令和4年1月1日から耳鼻科常勤体制が復活し、手術も再開される予定です。

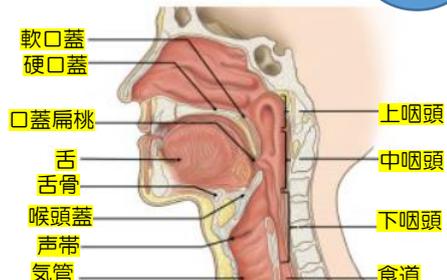


耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診療当科では、耳鼻咽喉科全般、めまい、難聴、中耳炎、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎(花粉症)、扁桃炎、嗅覚・味覚障害、睡眠時無呼吸症候群(いびき)、のどの違和感や声がれ(声帯ポリープ)、鼻・口・のど・首のできもの(副鼻腔癌、舌癌、咽頭癌、喉頭癌、甲状腺癌など)の診察、治療を行っています(鹿児島大学HPから)



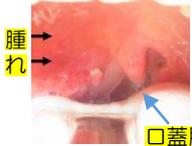
井内 寛之
(いうち ひろゆき) H22鹿大卒
日本耳鼻咽喉科学会専門医

2021/6の第45回日本頭頸部癌学会の優秀ポスター賞に選ばれました！「下咽頭癌症例における予後予測因子の検討」



はじめまして、耳鼻科常勤化に伴い、鹿児島大学から赴任しました。平日午前の外来(完全予約制)と木曜午後手術を行います。毎週木曜日の耳鼻科非常勤外来はこれまで通り継続されます。外来では紹介患者様の一般的な耳鼻科疾患の診察の他、救急では扁桃周囲膿瘍、喉頭蓋炎、突発性難聴や鼻出血の患者様を主に診察することが増えると思います。手術は内視鏡を使った鼻の手術、頸の良性腫瘍を摘出する手術、鼓膜の穴を塞ぐ手術など幅広くできるように準備を進めています。微力ではありますが、霧島市の医療に貢献できるように努めてまいります。

●今後、耳鼻咽喉科・頭頸部外科で予定している外来～入院診療



※扁桃周囲膿瘍は口の奥の両脇にある口蓋扁桃の炎症(主に細菌感染)が進行して膿を持った状態で、激しい喉の痛み(特に飲み込み時)と高熱を伴う疾患です。左図は扁桃の外側に炎症が広がり、膿瘍に押されて口蓋垂が偏移しています



※喉頭蓋炎：喉頭蓋は喉頭(息を吸うところ)の蓋(ふた)で、食べ物などが気管に間違って入らないようにする部分です。急性喉頭蓋炎は細菌などの感染によりこの喉頭蓋に腫れをおこす病気で、呼吸の通り道が狭くなり、窒息の可能性がある緊急性の高い疾患です。左図は喉頭蓋が腫れて呼吸の通り道が狭くなっています。

※突発性難聴：突然に生じる原因不明の難聴です。めまいを伴うものでは難聴も高度で回復も困難となる頻度が高くなります。治療は、ステロイド薬の飲み薬や点滴、循環改善薬やビタミン剤の投与、高気圧酸素療法(新病院で導入予定)を組み合わせで行います。

※鼻出血：鼻出血の9割は子鼻の入り口近くにあるキーゼルバツハからの出血で、多くは指の圧迫で止血されます。しかし、夜間・休日など開業されている耳鼻科医が休診で対応できない時間帯に、救急外来で止血できない時は今まで鹿児島市内の病院に搬送していましたが、これからは当院で対応可能となります。

●今後、耳鼻咽喉科・頭頸部外科で進めて行く予定の手術

※内視鏡を使った鼻の手術には、俗に蓄膿(ちくのう)といわれる慢性副鼻腔炎、鼻詰まりの原因となる鼻中隔湾曲症や鼻副鼻腔乳頭腫があります。
※手術の対象となる頸(くび)の良性腫瘍には脂肪腫、嚢胞(液体の入った袋)、神経鞘腫(神経の線維にできる腫瘍)、顎下腺腫瘍、耳下腺腫瘍、甲状腺腫瘍などがあります。
※急性中耳炎を繰り返し慢性中耳炎となって鼓膜に穴があき、そのことで難聴、耳だれ、耳が詰まるなどの症状が出た場合、この鼓膜を修復する手術治療を行います。

お知らせ

2019年度まで毎月当院で行っていた市民公開教育講座は2020年度に引き続き2021年度も誌上開催としております。

表題	日時	場所	内容
緩和ケア研修会	2022年1月9日(日)	当院	医療従事者向けの緩和ケアの研修会

部署紹介：臨床工学室 臨床工学士3名

臨床工学技士は医療機器の専門医療職です。病院内で、医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。また、医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行っており、安全性確保と有効性維持に貢献しています。

①血液浄化関連業務

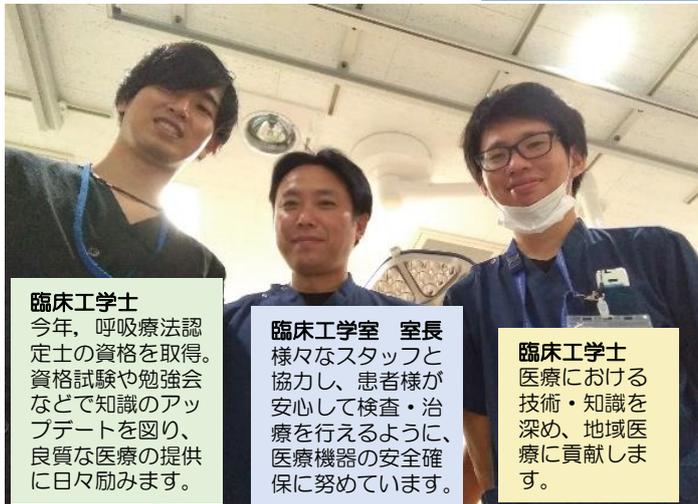
腎臓の機能が低下した場合に、その機能を人工的に置き換える「血液透析療法」、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿を入れて置き換える「血漿交換療法」、吸着の原理を応用して体内、血中に存在する種々の病因物質を除去する「血液吸着法」など様々な血液浄化療法が存在します。臨床工学技士は穿刺や人工透析装置の操作を行います。

②人工呼吸器関連業務

肺の機能が働かなくなり、呼吸が十分にできなくなった患者さんに人工呼吸器が装着された際、臨床工学技士は人工呼吸器が安全に使用されているか、また、装置に異常がないかなどを確認し、人工呼吸器のメンテナンス・管理等も行います。

③ペースメーカー/ICD業務

不整脈に苦しむ患者さんはペースメーカー（PM）、植込み型除細動器（ICD）といった機器を体に植込む手術を行います。臨床工学技士は、そのような機器を取り扱う場面で機器の管理や操作を行います。



臨床工学士
今年、呼吸療法認定士の資格を取得。資格試験や勉強会などで知識のアップデートを図り、良質な医療の提供に日々励みます。

臨床工学室 室長
様々なスタッフと協力し、患者様が安心して検査・治療を行えるように、医療機器の安全確保に努めています。

臨床工学士
医療における技術・知識を深め、地域医療に貢献します。

④心血管カテーテル業務

臨床工学技士は心臓カテーテル検査一連の記録をするためにコンピュータを操作し、また検査室内にある装置の操作を行います。緊急時には補助循環装置やペースメーカーなどを操作することもあります。

⑥医療機器管理業務

医療施設の様々な分野で使用される医療機器を、安全に使用できるようにまた、機器の性能が維持できるように保守・点検を行います。また医療機器の一括管理し、効率的で適切な運用ができるようにしています。

⑤手術室業務

臨床工学技士は、各手術室内の医療機器の操作や事前の管理を行います。

新病院では高気圧酸素療法室や集中治療室が整備されます。ここでも臨床工学士は大きな力を発揮します。

⑦高気圧酸素業務

血液中の酸素を増やす高気圧酸素療法で、臨床工学技士は、その装置の操作・管理を行います（CO中道。腸閉塞などに有用）

⑧集中治療業務

集中治療室で、臨床工学技士は、人工呼吸器や持続的血液浄化装置などの生命維持管理装置の操作や管理を行います。

施設整備(新病院)計画の今

11月に決まった工事受注会社と設計会社と、基本設計の確認作業を行い、実施設計へ向けて始動しています。

既にご存じかもしれませんが、①全室無料個室(トイレ付)、②集中治療室10床(内透析対応3床)、③PET-CT、④地域救命救急センター、⑤歯科口腔外科開設等が計画され、地域の皆様の健康を24時間365日支える医療を進めてまいります。

また、内視鏡室・超音波検査室も増え、待合室の環境も改善・待ち時間も短縮されます。見晴らしの良い最上階に男女別のドック室も整備されます。

常に患者視線に立ち、職員にも働きやすい環境を目指して今後も進めてまいります。

職員募集中

看護師、看護助手、薬剤師、医療クラークを募集中です。看護助手や医療クラークは未経験者でも可です。資格取得やキャリアアップの支援制度もあり、常勤採用もあります。詳しくは病院HPをご覧ください。本田事務長、濱崎事務次長、または坂元総務課課長補佐は随時対応いたします。

☎ 0995-42-1171

FAX 0995-42-2158

外来担当医表2022年1月1日(耳鼻科常勤化)

当院は病気になって刻々と容態が変化する急性疾患または重症患者の主として入院治療を24時間体制で行なう急性期病院です。医師や看護師の外来負担軽減もあり、救急医療以外、一般外来は完全紹介制とさせて頂いています。病気になった時、まずは“かかりつけ医”か最寄りの開業医師に診てもらってください。予約無しを受診でも診療は致しますが別に自己負担が発生します。

診察日	月曜日～金曜日, 受付: 午前8時30分～午前11時(緊急はこの限りに非ず)				
診療科	月	火	水	木	金
総合内科(紹介)	山田 祐輔	帖佐 俊行	田嶋 修三	宮里 千尋	有木園 哲仁
総合内科(初診)	松元 琢真	竹中 遥香	安藤 優之介	竹中 遥香	山里 侑
肝臓内科	田嶋 修三	長谷川 将	藤崎 邦夫	山崎 成博	長谷川 将
	藤崎 邦夫	藤崎 邦夫	呉 建	藤崎 邦夫	—
	—	山崎 成博	—	—	—
消化器内科	三阪 高春	三阪 高春	三阪 高春	三阪 高春	徳留 健太郎
	水上 京子	杉田 浩	重田 浩一朗	水上 京子 杉田 浩	肱黒 薫
循環器内科	寺師 利彦	寺師 利彦	循環器非常勤	肱黒 公博	寺師 利彦
	河野 智紀	肱黒 公博	—	中島 麻里	河野 智紀
呼吸器内科	徳永 大道	—	徳永 大道	高木 弘一	—
神経内科	—	—	田邊 肇	—	武井 潤
糖尿病内科	—	—	伊集院 太生	—	伊集院 太生
血液内科	鎌田 勇平	—	—	—	大納 伸人
緩和ケア外来	—	—	—	馬見塚 勝郎	—
救急車内科系	伊集院 太生	田嶋 修三	帖佐 俊行	有木園 哲仁	宮里 千尋
救急車外科系	整形当番医	外科当番医	外科当番医	原浦 博行	脳外当番医
消化器外科	門野 潤	急患のみ対応	二渡 久智	門野 潤	急患のみ対応
	崎田 浩徳		崎田 浩徳	濱田 琴巳	
	—		林 知実	井上 真岐	
呼吸器外科	柳 正和	—	柳 正和	—	柳 正和
脳神経外科	森 正如	寺田 耕作	—	寺田 耕作	森 正如
整形外科	益田 義幸	益田 義幸	—	益田 義幸	—
	加世田圭一郎	加世田圭一郎	—	島ノ江研斗	—
心臓血管外科	—	曾我欣治 (第1週, 午後)	井本 浩 (1,3水・終日)	—	川井田 啓介 今釜 逸美
泌尿器科	—	栢木 太郎	—	—	—
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	井内 寛之	井内寛之	井内寛之	松崎 勉 西元 謙吾	井内寛之
乳腺外来	—	—	藤喜 義敬 相良 安昭	—	—
小児外科	連 利博	—	連 利博	連 利博	—
小児一般	原浦 博行	原浦 博行	原浦 博行	井上 博貴	井上 博貴
	井上 博貴	井上 博貴	井上 博貴	—	—
小児アレルギー	吉川 英樹	吉川 英樹	吉川 英樹	—	吉川 英樹
小児循環器	江口 太助	江口 太助	江口 太助	江口 太助	江口 太助
放射線科	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平